

第40回記念

倉敷合唱フェスティバル

2016年2月28日(日) 14時開演
倉敷市民会館ホール

【倉敷市合唱連盟加盟団体】

あざみコーラス アンコーラ 水中翼船 ブチ・パニエ コールひまわり 瀬戸内混声合唱団
倉敷市民合唱団 倉敷少年少女合唱団 倉敷男声合唱団 コールローゼ コール・ファミリー
コールフローラ コスモスコラス 女声合唱の会アンダンテ JFEみずしま混声合唱団 (順不同)



主催：倉敷市合唱連盟

共催：倉敷市文化連盟 後援：倉敷市 山陽新聞社

本公演は次の公益財団法人の助成を受けて実施します。

福武教育文化振興財団 マルセンスポーツ・文化振興財団 エネルギー文化・スポーツ財団

ごあいさつ



第40回記念倉敷合唱フェスティバルへのご来場、まことにありがとうございます。
倉敷市合唱連盟では、主に加盟各団が単独で演奏する形の「合唱フェスティバル」を例年開催していますが、今回は区切りの第40回を記念して、連盟内合唱団に加えて市内外の合唱愛好家にも出演していただき、童声・女声・男声・混声の「記念合唱団」を編成、これまでとはひと味違う形で開催いたします。

童声を担う倉敷少年少女合唱団は上級生団員を中心に出演し、元気な歌声を響かせます。
女声合唱と男声合唱は、地元の経験豊かな指導者のもとに、充実した新感覚の組曲を披露します。
最終の混声合唱のステージでは、関西合唱界の雄、清原浩斗氏を迎え、氏の指導のもとに練り上げた美しい「筑後川」を演奏します。

それぞれの合唱の醍醐味をどうぞ心ゆくまでお楽しみください。本日のフェスティバルを機に、合唱が好きな人、歌いたくなる人がますます増えることを心から願っています。

今後とも、倉敷市合唱連盟へのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2016年2月28日 倉敷市合唱連盟理事長 飯田永久

プログラム

I. 倉敷少年少女合唱団(上級生クラス)

◆指揮 難波夕鼓 ◆ピアノ 上山タ子

- 1 ミュージカル「美女と野獣」より
「Be Our Guest ～ようこそお客様～」
「美女と野獣(メインテーマ)」
- 2 MISSA BREVIS より Kyrie
- 3 Missa pro Juventute より GLORIA
- 4 女声合唱の為の「聖母への祈り」より
Ave Regina coelorum

作曲：Alan Menken

作曲：NANCY TELFER

作曲：Josef Wolfgang Ziegler

作曲：松下 耕

II. 第40回フェスティバル記念女声合唱団 女声合唱組曲「今日もひとつ」

◆指揮 矢内淑子 ◆ピアノ 野村公江
作詞：星野富弘 作曲：なかにしあかね

- 1 いつだったか
- 2 秋のあじさい
- 3 よろこびが集ったよりも
- 4 いちじくの木の下
- 5 今日もひとつ

休憩

III. 第40回フェスティバル記念男声合唱団 男声合唱とピアノのための「新しい歌」

◆指揮 松下泰久 ◆ピアノ 上森佳枝

- 1 新しい歌
- 2 うたをうたうとき
- 3 きみ歌えよ
- 4 鎮魂歌へのリクエスト
- 5 一詩人の最後の歌

作曲：信長貴富

作詞：G.ロルカ

訳詞：長谷川四郎

作詞：まど・みちお

作詞：谷川俊太郎

作詞：L.ヒューズ

訳詞：木島 始

作詞：H.アンデルセン

訳詞：山室 静

IV. 第40回フェスティバル記念混声合唱団 混声合唱組曲「筑後川」

◆指揮 清原浩斗 ◆ピアノ 林 由記

- 1 みなかみ
- 2 ダムにて
- 3 銀の魚
- 4 川の祭
- 5 河口

作詞：丸山 豊

作曲：團 伊玖磨

曲 目 解 説

ミュージカル「美女と野獣」ほか

「美女と野獣」はディズニーアニメや劇団四季で知られる有名ミュージカル。魔法で野獣に姿を変えられた王子が、真実の愛で本当の姿に戻る…というお話しです。野獣のお城に囚われた美少女ベルを、ロウソクや時計に姿を変えられた家臣たちがおもてなしする「Be Our Guest ～ようこそお客様～」、野獣に心を開いたベルと野獣がロマンティックに踊る「美女と野獣(メインテーマ)」をお聴き下さい。

カナダの作曲家NANCY TELFER(1950～)によるKyrie「哀れみの賛歌」、オーストリアの作曲家Ziegler(1906～2000)によるMissa pro Juventute(若者のためのミサ曲)よりGLORIA「栄光の賛歌」、松下耕によるAve Regina coelorum「幸いあれ天の女王よ」を、当団が活動のメインとして取り組む、アカペラでお送りします。

(ミュージカル「美女と野獣」6曲、コンクール受賞アカペラ合唱曲・独唱曲、40回記念ミュージカルメドレー他、第40回記念定期演奏会4月24日倉敷市民会館でもジュニアクラス〈幼児・低学年〉含む団員約120名が熱演します!)

難波夕鼓

女声合唱組曲「今日もひとつ」

日常の小さな喜びや悲しみ、身体の不自由さの中で綴った星野富弘の詩に、なかにしあかねが曲をつけた女声合唱組曲。彼女は星野富弘の作品に寄り添いながら、命の言葉をメロディーの翼に載せることで、私たちをいつの間にか星野富弘の詩の世界へ導いてくれる。なかにしあかねの言葉「空を仰ぎ、陽光にくるまれ、花のように小さな自分自身にそっと寄り添って今日という日を大切に愛おしむ、ささやかなきっかけになればと願う。」と優しく語りかける。

第1曲は、遠く静かな山々から人々が暮らす里に春風を爽やかに運んでくれるような前奏で始まるピアノ独奏、タンポポの綿毛を軽やかに飛ばすように爽やかな空間が広がる。第2曲は、美しい旋律を優しく和声が彩り、短い曲ながら爽やかな緊張感が漂う。絵筆を口にくわえて詩画を書く姿を思い浮かべながら歌いたい。第3曲は、雄大な山の景色を思わせるピアノ独奏で始まり、いつの間にか心が解き放たれる。第4曲は、「喜びと悲しみ」「強さと弱さ」「幸せと不幸せ」という表裏一体の言葉の奥深さを大事に歌いたい。第5曲は、唯一短調の曲で、冒頭のピアノ演奏は、2千年前にタイムスリップしたような不思議な空間に導く。ノンレガーで演奏するピアノと歌、キリストとザアカイのやり取りが目につかぶ。この曲集を代表する最後の曲、パイプオルガンの音色を思い浮かべながら、讃美歌のように敬虔な空気の中で、自身の心に語りかけるように歌い綴る。

矢内淑子

男声合唱とピアノのための「新しい歌」

いまや現代日本の合唱作曲家の中でも超売れっ子の信長貴富氏。彼が公務員を辞め、専業の作曲家として独立した初期の作品の一つです。

この曲集は、20世紀最後の年に東京六大学合唱連盟の合同演奏の場で二十歳前後の若者たちにより、21世紀の代表的な男声合唱曲として歌い継がれるべく「産声」をあげました。この曲集は後に、混声合唱にも編曲されましたが、特に3曲目「きみうたえよ」はさらに女声合唱にも編曲され、もはや合唱する者なら誰でもが口ずさめる「名曲」になっている感さえあります。

初演以来16年が経過していますが、国内外の5人の詩人の魂の詩のそれぞれに、いわゆる正統派の合唱、歌謡曲、ジャズ風作品のメロディーやハーモニーが施され、その斬新さはいまだに色褪せないままの作品であり続けているのではないのでしょうか。いまだきの若者には何ともない歌いながらのフィンガースナップ、ハンドクラップも、正直おじさんたちにとっては苦しみの一つでしたが、それを克服した歌手たちにとっての感動体験を奏でる音楽とセットでお楽しみください。

松下泰久

混声合唱組曲「筑後川」

筑後川は、阿蘇の外輪山を水源とし、筑後平野を横断して有明海に注ぐ、九州地方最大の河川である。

混声合唱組曲「筑後川」は、「久留米音協合唱団」が創立5周年を迎えた1968年、雄大なこの川を題材として歌いたいと発案、作詞を久留米市在住の現代詩人丸山豊氏に、作曲は、やはり久留米に縁の深い團伊玖磨氏に委嘱して作られたものである。曲作りは当時のブリヂストンタイヤ社長石橋幹一郎氏の支援を受け、久留米市「石橋文化ホール」において作曲家自身の指揮で、同じ年の暮れに初演された。

「大いなる愛の川」という副題を持つこの組曲は、筑後川の豊かな自然と、そこに生活する人々の愛情と誇りが織りなすロマンを、あるときは清らかに、あるときは激しく、そして堂々と高らかに歌いあげるもので、高梁川流域に住む私たちにも、きわめて自然に受け入れられる名曲である。

この親しみやすく、しかも格調高い合唱曲は、初演以来全国のあらゆる種類の合唱団や学校などで演奏され続けている。

飯田永久

指揮者



清原 浩斗 (Kiyohara Hiroto) (客演)

合唱指揮者。関西および大阪府両合唱連盟理事長、大阪音楽大学声楽科卒業。33年続いている大阪城ホール・1万人の「第九」の合唱指揮をただ一人第1回目から担当、さらにウィーン(1985)およびプラハ国立歌劇場での邦人初の「第九」公演の合唱指揮を務め、邦人による海外演奏ブームの先駆けとなる。またベルリンでのドイツ統合10周年記念演奏会、韓国での日韓交流40周年記念演奏会、また故シノーポリ指揮のマーラー「千人の交響曲」や、シドニーオペラハウスでの公演、また東大寺落慶法要大合唱など国内外の大きな音楽イベントの合唱指揮者として活躍。富田勲、森山良子、さだまさし、久石讓各氏との共演などクラシックからポップスまで、その指導は楽しく、高い音楽性や演出力は定評がある。全日本合唱連盟理事として全国のコンクール審査員や講習会でも活躍している。



難波 夕鼓 (Nanba Yuko)

岡山大学教育学部音楽専攻卒業。同大学院教育学研究科音楽教育専攻修了。大学在学中より倉敷少年少女合唱団ピアニストを務め、団創設者の父、鈴鹿正亡き後、指揮法を小泉ひろし氏に師事、指揮者に転向。初出場した県アンサンブルコンテストで部門最優秀受賞以来、アンサンブルコンテスト全国大会に複数出場、全日本合唱コンクール県大会で金賞・部門1位、中国大会県代表出場、ブダベスト国際合唱コンクール金賞受賞など、団を各賞受賞に導く。岡山県合唱連盟より近藤指揮者賞受賞。団長を務める倉敷少年少女合唱団からは、全日本高校声楽コンクール第1位を始め、県学生音楽コンクール・児童コンクール1位他多数を輩出。



矢内 淑子 (Yanai Toshiko)

国立音楽大学音楽研究科声楽専攻修士課程修了。現在、岡山・愛知両県を中心にソリスト・合唱指揮者として活動。2011年度名古屋二期会主催「天国と地獄」の世間役では、「音楽の友」で好評を得る。最近では毎年創作オペラに出演するとともに、音楽を通じて多くの方々と交流することを願って、地域の合唱団の育成に力を注ぐ。現在、愛知東邦大学教育学部教授。岡山県合唱連盟相談役、瀬戸内混声合唱団、女声合唱団萌え木、アンコーラ、愛知東邦大学混声合唱団の指揮者。



松下 泰久 (Matsushita Yasuhisa)

上智大学文学部卒。在学中に同大学の男声合唱団に所属し、故北村協一氏、外山浩爾氏、大久保昭男氏らの指導を受け、合唱の楽しみに目覚める。大学時代には編曲の楽しみを覚え、男声合唱に編曲して書きためたものもあり、ここ何年かは作曲にも手を出している。在籍している倉敷男声合唱団の最近の定期演奏会においては、必ず1曲は編曲・作曲したものが演奏され、本人はこっそりとほくそ笑んでいる。また合唱曲として作曲されている詩についての解釈を趣味としており、ウェブ上には幾つもの男声合唱団から参考にされているページも存在する。現在、岡山県合唱連盟副理事長、倉敷男声合唱団の正指揮者。

ピアニスト



上山 夕子 (Ueyama Yuko)

作陽音楽大学音楽学部音楽学科ピアノ科卒業。くらしき作陽大学 専攻科修了。ピアノを藤村祐子、高良正幸、久宗旬子、田中節夫、田中いづみ各氏に師事。作陽音楽大学卒業演奏会 岡山新人演奏会 第9回津山国際音楽祭にピアノソロで出演。岡山県内外にてピアノコンサートを行う。



野村 公江 (Nomura Kimie)

広島大学教育学部卒業。広島大学大学院教育学研究科修了。ピアノを、野島利枝、糸賀英憲、西光千代子、佐藤紀美子の各氏に師事。主に30年にわたる、「ゆうばな」コンサートにて、独奏、連弾、重奏、伴奏等の様々な形態によるピアノ演奏を行う。現在、倉敷市立短期大学教授。



上森 佳枝 (Uwamori Yoshie)

くらしき作陽大学モスクワ音楽院特別演奏コース卒業。ロシア国立モスクワ音楽院大学院ピアノ科修了。ピアノを守屋俊子、柳井修、A.ピサレフ、V.オフチニコフの各氏に師事。現在、岡山城東高校、くらしき作陽大学非常勤講師。岡山パッサカントータ協会、倉敷男声合唱団ピアニスト。



林 由記 (Hayashi Yuki)

島根大学教育学部(特音)卒業。島畑斉氏に師事。倉敷市・岡山市で伴奏者として活躍中。倉敷市合唱連盟関係では、著名な指揮者のもと、オルフ「カルミナ・ブラーナ」、ベートーヴェン「第九」、ハイドン「四季」、モーツァルト「レクイエム」等の練習ピアニストを務め、その技量の確かさ、表現力の豊かさで高い評価と信頼を得ている。現在、ヤマハ音楽教室講師、瀬戸内混声合唱団ピアニスト。

